



モービル SHC シーバス 32 HT (Mobil SHC Cibus 32 HT)

NSF H1 登録の熱媒体油

製品の概要

モービル SHC シーバス 32 HT は、NSF(National Sanitation Foundation) H1 登録潤滑油が要求される密閉系間接加熱設備での使用を目的とした合成系高性能熱媒体油です。耐熱分解性能および耐酸化性能を発揮するべく処方されているので、潤滑油寿命を延長し、堆積物やスラッジ生成を抑制できる製品です。

モービル SHC シーバス 32 HT の粘度特性は、効果的な熱伝達を可能にするとともにシステムの効率を最大限に高くするように吟味して選定されています。低粘度特性により、低温流動性を良くし、低温環境下における起動も容易にしています。モービル SHC シーバス 32 HT は、比熱や高熱伝導率などによって優れた熱伝達特性を持つように設計されており、急速な熱拡散を可能にし、それによってシステム全体の効率の向上をもたらすことを可能にする製品です。さらに、モービル SHC シーバス 32 HT は低揮発特性を持ち、熱媒体油の消費量を低減をします。

モービル SHC シーバス 32 HT は、NSF H1 に登録されているとともにカナダ食品監視局に認められている製品ですので、偶発的に食品と接触する可能性がある用途に適しています。さらに、モービル SHC シーバス 32 HT は、ISO 22000 の認可を受け、さらに高いレベルの製品品質を維持するよう ISO 21469 の要求に合致する工場生産されています。

また、Kosher(Parve)および Halal の食物規定のもとに利用される用途にも適しており、ナッツ類、グルテン、小麦および動物性食品を含まずに処方されています。DIN 51522 にある熱媒体油の要求およびその試験に適合します。

モービル SHC シーバス 32 HT は、食品および飲料製造業向けにエクソンモービルの提供する NSF H1 登録潤滑油製品群の内の一つの製品です。

製品の特長ともたらす利益

特長	製品の特長と期待できる利益
NSF H1 登録潤滑油	偶発的に食品と接触する可能性のある食品および飲料の包装および処理用途での使用に適する
ISO 22000 の認可を受け ISO 21469 に登録された工場生産	独立した機関による信頼できる製品品質保証
高粘度指数	高温で粘度および油膜を維持し設備を保護
ワックスを含まず、低流動点特性	比類ない低温での流動性により、起動が容易
耐熱分解性能	スラッジおよび炭化物堆積を無くし、熱伝達能力低下を最小限に抑え、メンテナンス作業を最小限にする
良好な熱的特性	伝熱システムの運転効率を向上させる

用途

取り扱いおよび保管についての推奨

モービル SHC シーバス 32 HT はその他のモービル SHC ブランドの潤滑油と同様屋内倉庫に保管し、H1 潤滑油以外の他の製品とは隔離された場所に保管することをお勧めします。はっきりと標示され、他の製品とは隔離、指定された屋内区域に保管して頂くのが理想的です。モービル SHC シーバス シリーズのドラムやペール缶は、H1 潤滑油以外の他の製品の下または上に積み重ねないように保管して下さい。新しい容器はシールの破損が無く、その他ダメージがないものであることを確認してください。配送日、バッチ番号および有効期限を記録しておいてください。初回封をはがして開封した日付を記録しておき、開封後は適切な在庫のローテーションに基づき指定される適切な期間中に中身を使用してください。使用後は容器のふたをすべて閉めて下さい。容器に未使用のオイルを入れ替えたりしないでください。内部の輸送でも明確に標示されている専用の設備を使用してください。H1 潤滑油の正確な名称を明示したラベルを機械に付けてください。

モービル SHC シーバス 32 HT は、その他の NSF H1 または NSF H1 登録されていない鉱油系潤滑油をベースとする熱媒体油との物理的相溶性を有している場合もありますが、混合すると製品の性能およびその NSF 登録が損なわれる可能性があります。そのため、モービル SHC シーバス 32 HT の性能を最大限にし、かつ NSF H1 登録基準に準拠するためにも、システムをモービル SHC シーバス 32 HT に変更する前にはシステム内を完全に洗浄し、フラッシングすることを推奨します。

熱媒体システムでの用途

モービル SHC シーバス 32 HT は、NSF H1 登録の潤滑油が要求される幅広い食品加工用途における密閉系の加熱および冷却システムに推奨されます。これには、食肉加工、水産加工および飲料加工、そしてインスタント食品、および動物性食品の製品加工が含まれます。さらに、この潤滑油は、高温の潤滑油が大気に直接さらされる開放系での使用には推奨されません。高温となっているモービル SHC シーバス 32 HT が、万が一漏れ箇所から噴霧したり露出した場合には自然発火したりする危険があります。

密閉系での、最高バルク温度は 280°C であり、最高境界膜温度は 295°C です。潤滑油の最高使用温度は高温にさらされる時間に依存します。(システムの設計や流量などにより異なります) 適切な運用の確認は装置メーカーにご相談ください。なお、推奨される条件は以下の通りです。1) ヒーター部においては、レイノルズ数 10,000 以上の乱流を維持してください； 2) ヒーター部において局所的に高い境界膜温度になると潤滑油の寿命を短縮するため、(ヒーターメーカーの指示に従って) 高い熱流が局所的な部位にできないようにして下さい； 3) 潤滑油の酸素との接触は潤滑油の寿命短縮につながるため、酸素との接触を最小限に抑えるために窒素ガスを封入してください；

モービル SHC シーバス 32 HT の寿命を最大限に延ばすためにも、モービル SHC シーバス 32 HT の定期的な使用油分析とモニタリングを行うことが推奨されています。システムにモービル SHC シーバス HT 32 を充填した一カ月後に潤滑油の初期状態のチェックを行い、また、6 か月毎に継続的に使用油分析を行うことを推奨します。

米国食品医薬品局 21 連邦規制基準(FDA 21 CFR 178.3570) による偶発的な食品との接触

モービル SHC シーバス 32 HT は、21 CFR 178.3570 により規定される偶発的な食品との接触の恐

れがある箇所の潤滑剤としての使用に関して H1 に登録されています。直接の食品接触を伴う潤滑油としては使用しないでください。

また、モービル SHC シーバス 32 HT は、化学工業、製薬および樹脂成型などさまざまな産業における密閉系熱媒体システムにも使用できます。

規格および承認

モービル SHC シーバス 32 HT は下記の要求に適合するか、またはそれを上回ります:	モービル SHC シーバス 32 HT
FDA 21 CFR 178.3570	○
カナダ食品監視局(承諾)	○
DIN 51522 (1998 - 11)	○
モービル SHC シーバス 32 HT は下記に登録されています:	モービル SHC シーバス 32 HT
NSF H1	○
NSF HT1	○
NSF 登録番号	141504
モービル SHC シーバス 32 HT は下記に承認されています:	モービル SHC シーバス 32 HT
Kosher & Parve	○

代表性状

試験方法	試験法	単位	モービル SHC シーバス 32 HT
密度@15°C	ASTM D4052	Kg/m ³	829
動粘度@40 °C	ASTM D 445	mm ² /s	30.4
動粘度@100 °C	ASTM D 445	mm ² /s	5.91
粘度指数			135
色相	ASTM D1500		0.5
引火点*	ASTM D 92	°C	234
流動点	ASTM D 97	°C	- 54
硫黄分			<0.1
日本で取り扱っている製品			○

* 引火点に関する正確な消防法分類に関しては、安全データシート(SDS)を参照ください。

健康と安全

現在までの知見によれば、本製品は安全データシート (SDS) に記載されている推奨用途で使用される限り、健康を害することはないと予想されます。安全データシートは、販売店またはインターネットか

ら入手可能です。本製品を本来の用途以外に使用しないでください。使用油を廃棄する場合は、法令を遵守し、環境安全性を配慮して処理して下さい。

特に明記されていない限り、ここで使用される商標はすべて Exxon Mobil Corporation か、または同社の子会社の商標または登録商標です。

02-2019

お問い合わせは

EMG ルブリカンツ合同会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4 丁目 4 番 2 号

潤滑油カスタマーレスポンスセンター

TEL(フリーダイヤル): 0120-016-313

www.emg-lube.jp

代表性状は通常の製造における許容される差異を含んだ代表値であり仕様として保証するものではありません。製品性能に影響しない性状の差異は、通常の製造工程においても、または製造工場の違いでも発生することがあります。本書に示される情報は、予告なしに変更されることがあります。本書に掲載されているすべての製品がすべての地域で入手できるとは限りません。お問い合わせは上記連絡先からお願いします。

エクソンモービルは、エツソ、モービル、またはエクソンモービルを社名に含む、多くの系列会社や子会社の全部または一部を意味します。本書における記述は、これら各会社における法人格の独立性を損ねることを意図するものではありません。エクソンモービルの系列会社や子会社における各社の活動についての責任は、当該各社がこれを負います。

Copyright (c) 2003-2019 Exxon Mobil Corporation. All rights reserved